

第2回那須クラシック音楽祭

「ベートーヴェン 田園」



弦楽亭室内オーケストラ第5回コンサート

2021年9月20日(月祝) 午前11時開演(10:30開場)

場所: 那須野が原ハーモニーホール 大ホール

入場料:

1,500円(当日券)

1,200円(前売り券)
高校生以下無料

曲目: ドヴォルザーク 序曲「我が家」作品62
ヴォルフ イタリアのセレナーデ(小管弦楽版)
ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」



弦楽亭室内オーケストラ

地域に根ざした音楽文化の活性化を目的に、那須町内にある音楽ホール弦楽亭に集まるプロ・アマ混成の高い演奏技術を持つ精鋭音楽集団。常任指揮者柴田真郁氏のもと、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などのメンバーが集結、アマチュアの演奏家とともに、名曲「田園」で、那須の豊かな自然を紡ぎます。

コンサートチケット購入場所:

那須野が原ハーモニーホール 0287-24-0880 (9:00-17:00)

道の駅 那須高原友愛の森 0287-78-0233

那須ブックセンター 0287-78-2000

那須クラシック音楽祭Webページから <http://ncmf.site>

お問い合わせ:

那須クラシック音楽祭実行委員会 0287-76-7268



主催:那須クラシック音楽祭実行委員会

共催:弦楽亭

後援:栃木県/栃木県教育委員会/那須町/那須町教育委員会/那須塩原市/那須塩原市教育委員会/大田原市/大田原市教育委員会/白河市/白河市教育委員会/朝日新聞宇都宮総局/共同通信社 宇都宮支局/産経新聞社宇都宮支局/下野新聞/東京新聞宇都宮支局/毎日新聞宇都宮支局/読売新聞宇都宮支局/エフエム栃木/栃木放送/那須町観光協会/那須町商工会/那須高原作家協会

出演者紹介 (一部)



柴田真郁 (指揮)

1978年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。05年、バルセロナのリセウ大歌劇場のアシスタント指揮者オーディションに合格し、ヴァイグレ、ロス＝マルバ氏等のアシスタントとして、様々な上演に携わる。10年には再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。帰国後は主にオペラ指揮者として活動。最近では18年にマスネ「ナヴァラの娘」(日本初演)、19年にプッチーニ「ラ・ボエーム」、20年にはヴェルディ「リゴレット」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。20年11月には日生劇場にて「ルチア～あるいはある花嫁の悲劇～」も指揮し、好評を博す。近年では管弦楽にも力を入れ、読響、東響、東京フィル、日本フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、大響、群響、広響等と共演。指揮を十東尚宏、星出豊、ティロ・レーマン、サルバドール・マス・コンデに師事。2010年五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。



矢野晴子 (コンサートミストレス)

東京藝術大学卒業。全日本学生音楽コンクール第1位。桃花楽堂にて御前演奏。アイザック・スターン、ヘルマン・クレッパース、ルジェロ・リッチ、メナハム・プレスラー各氏のマスタークラスに参加。海野義雄、原田幸一郎各氏に師事。ベルリンにてイラン・グローニツヒ氏に師事。ヨーロッパ各地でコンサートを開催し好評を博す。ソロ、室内楽、様々なジャンルの音楽家達との共演、映画音楽コマーシャルソング等のレコーディング、弦楽四重奏を中心としたオリジナル曲の制作、または編曲等幅広い活動を行っている。那須にある音楽ホール《弦楽亭》のオーナーの一人でもありそこのコンサートを定期的に開催したり、音楽家の派遣、若手演奏家の育成等にも関わっている。現在、東京、那須を拠点に活躍中。

海和伸子 (ヴァイオリン)

東京藝術大学附属高等学校を経て、同大学器楽科卒業。東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。梶場富美子作曲、無伴奏ヴァイオリンのための「ルブリョフの扉」を初演。西村朗作曲、2台バイオリンのための「ラティ」日本初演。フランス、オランダ、エジプト、スペインなど各地の音楽祭に出演。都響での演奏を軸にソロ、室内楽、録音などの活動を積極的に行う。これまでに、足立佳代子、田中千香士、澤和樹、清水高師の各氏に師事。現在東京都交響楽団員。東京シンフォニエッタ、ローズタウントリオメンバー。



矢野晶子 (チェロ)

東京藝術大学卒業。新日本フィルハーモニー交響楽団所属。大学在学中、イタリアのシエナにおける、キジアーナ音楽院サマーアカデミーに参加。その際、室内楽コースにてディプロマ受賞。東京にてリサイタルを開催。新日本フィルハーモニー交響楽団ともソリストとして共演。



小林明子 (ヴィオラ)

東京藝術大学音楽学部卒業。同音楽院修了。現在東京都交響楽団ヴィオラ奏者。カールフレッシュアカデミー、ライナソフィア王妃アカデミーなどで研鑽を積む。大泉文化むら賞受賞。



村松裕子 (コントラバス)

東京藝術大学卒業。新日本フィルハーモニー交響楽団所属。PMFフェスティバルや、アフィニス音楽祭に参加。ドイツ リューベック音楽大学に留学。オーケストラ活動に加え、都内の小・中学校での演奏や指導の他、音楽作りワークショップリーダーとして幅広く活躍中。



山本直人 (オーボエ)

武蔵野音楽大学卒業。名古屋フィルハーモニー交響楽団にて首席奏者を務める。ベルリンに留学し、アンドレアス・ヴィットマン氏に師事。名古屋市市民芸術祭2004審査員特別賞を受賞。これまでに、名古屋フィル、広島交響楽団等と数多くの協奏曲を共演。現在、名古屋音楽大学、大垣女子短期大学音楽総合科非常勤講師。愛知室内オーケストラ客演首席奏者。



服部孝也 (トランペット)

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。桑原賞受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団にて首席奏者を務める。アフィニス文化財団海外研修生としてニューヨークのマネス音楽大学で学ぶ。またソリストとして新日本フィルハーモニー交響楽団とハイドンのトランペット協奏曲、ロストロポーヴィチ指揮でショスタコーヴィチのピアノ協奏曲第1番を共演する。



石川一 (ファゴット)

武蔵野音楽大学卒業。群馬交響楽団にて首席奏者を務める。第231回群響定期演奏会では故遠山信二指揮でモーツァルトのファゴット協奏曲のソリストを務めた。草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルで M. トゥルコヴィッチや C. トゥーネマンのレッスンを受け、また海外の演奏家との室内楽も数多く共演している。



川瀬達也 (ティンパニー)

東京音楽大学卒業。新日本フィルハーモニー交響楽団、首席ティンパニー奏者。打楽器アンサンブルグループ「ザ・パーカッション・チェンバー」メンバー。尚美ミュージックカレッジ専門学校非常勤講師。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の点についてあらかじめご了承ください。

- ・館内では、マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒、こまめな手洗い、ソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします。
- ・開場時に検温をいたします。発熱が確認された場合、入場をお断りさせていただく場合があります。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、公演が中止・変更になる場合があります。

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用いただくか、乗り合わせでお越しいただくようご協力をお願いします。